

- 電子カルテを始めとした医療DXに関して都民が感じているメリットを調査し、調査結果を患者・都民や医療機関にわかりやすく発信していくことで、医療機関における医療DX化の促進につながる施策に反映し、患者満足度向上につなげていく。

## 1 実施方法

web調査（調査業者に委託して実施）

## 2 調査対象者及び有効回答数

都民800名程度の有効回答を予定

## 3 実施時期

令和7年10月頃

## 4 調査項目

- ・年齢区分・外来受診頻度・入院経験
- ・受診に当たり不便・不満に感じていること（患者及び家族視点）
- ・医療DXに係る取組の**想定される効果別に期待度合い（期待する～ほとんど期待しない）を4段階で選択**  
*例：電子カルテによる情報共有の場合*  
*かかりつけ医と紹介先の情報共有による良質な医療の提供、緊急時における迅速な情報共有、重複検査・重複投薬の削減、診療情報提供書等の待ち日数や手間の削減*
- ・医療DXに求める取組上位を選択（3項目まで）

## 5 活用方法

調査結果を東京都ホームページ等を通じてわかりやすく医療機関、都民双方へ発信する。

### 【調査イメージ】

（問4-2）オンライン受診予約⇐

- ・電話以外での予約方法の確保⇐

①期待する ②やや期待する ③あまり期待しない ④ほとんど期待しない⇐

- ・受診リマインド（受診日が近づいた際のお知らせ）機能⇐

①期待する ②やや期待する ③あまり期待しない ④ほとんど期待しない⇐

（問4-3）自宅等による事前のWeb問診⇐

- ・院内での待ち時間の削減⇐

①期待する ②やや期待する ③あまり期待しない ④ほとんど期待しない⇐